

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2018 年 1 月 14 日作成

研究課題名	椎骨動脈解離に対する血管内治療の評価
研究の対象	椎骨動脈解離によりくも膜下出血を発症し本院救命センター及び本院脳神経外科に搬送され血管内治療を施行した症例、および本院脳神経外科にて非出血発症の椎骨動脈解離につき血管内治療を施行した症例
研究目的 ・方法	目的：椎骨動脈解離によるくも膜下出血に対し血管内治療を施行した症例および出血前に血管内治療を施行した症例を比較し、予後の評価および予後因子の検討を図る。 方法：血管内治療後の臨床経過良好と判断された群と不良と判断された群に分類し、各群における血管内治療前後の様々な因子を比較する。さらに、出血はないが解離の治療を目的として脳神経外科にて血管内治療を実施した症例をコントロール群として症例集積し統計解析を行い、予後を左右する因子の特定を試みる。
研究期間	西暦 2016 年 3 月 25 日 ～ 西暦 2020 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	検査データ等項目：年齢・性別、基礎疾患、くも膜下出血発症時から治療開始までにかかった時間と止血終了までの時間等、血腫量、重症度、椎骨動脈瘤再破裂の有無および最初の破裂から再破裂までの時間、水頭症の有無、脳室ドレナージ術の施行と実施時期、後下小脳動脈との位置関係、椎骨動脈血管径、塞栓部位、術中合併症の有無とその種類、術後の神経症状、治療後の転帰、術中前後のバイタルサイン、血液データ、術後の放射線画像等。 本研究で用いられた上記情報の保管は、電子媒体の場合は、パスワードを設定した電子ファイルでインターネットに接続できないパソコンで保存し、紙媒体の場合は、施錠のできる保管庫等で保管します。このパソコンや紙媒体が保管されている部屋は、入室が管理されており第三者が立ち入ることはできません。 また、本研究に関する文書および記録は、横浜市立大学附属市民総合医療センターの個人情報にかかわる規定に従い、上記方法で厳重に管理します。 また、廃棄する際は、パソコン上で保存している情報についてはそのパソコン端末等から完全な削除を行い、紙で保管している情報はシュレッダーにて廃棄します。
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。	

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 脳神経外科（研究責任者）間中 浩

電話番号：045-261-5656（代表）